

社 協

み い り



【編集発行】

- ・三入地区社会福祉協議会・広報委員会
- ・〒731-0211 広島市安佐北区三入5丁目15番9号三入公民館1階
- ・TEL・FAX・082-818-7337

第75号

2013年7月

発行部数 2,600部

- ・目次 2ページ：三入社協役員名簿 3～4ページ：三入地区社会福祉協議会の活動報告
- 5ページ：社協25年度予算、新任役員の紹介 6ページ：おくやみ、愛の灯



写真は：下町屋バス停記念碑前の北側からのスナップ

「みいりの風景」

写真シリーズ⑦

「ラバーダムと親水広場」

一級河川山倉川の改修工事のうち平成16年に完成したラバーダムは、灌漑用水の確保と同時に豪雨による災害を防ぐために構築されたものです。また、ダムの上流側・根の谷川からの取水が合流する地点は、水辺の生きものや草花と親しめる公園として整備されました。：ラバーダムは空気の封入で膨らむことによって基準の水位を保っており、通常は一定量を放流している。豪雨の際に水位が基準を超えた場合に、自動的に空気が抜けることによって水位が下がります。ダムの復元操作は手動で行います。

【ふくし 探訪】

「生きものはつながりの中に」

中村桂子氏（理学博士）の講義録より

民生委員・児童委員の「ひろば」

：地球環境と人心の荒廃は同じ問題：

最近の話題である地球温暖化問題と人心の荒廃。この二つは違う問題とされ、前者は技術、後者は道徳で解決しようとしています。実は、この二つの原因は同じです。生きものとしてのつながりを大事にせずに、外（地球環境）の自然も自分の心の中にある自然も壊してしまっただけのことです。だからいのちを大切にすれば二つとも解決します。

：機械と生きものはどこが違うのか：

自動車は設計図と部品があれば作れますが、お米は同様にはつくれません。稲という生きものを育てて、できたお米をいただいている訳です。生きものを育てるには時間がかかります。ところで、効率主義を重んじ過ぎますと、工業はすばらしい、農業は劣った産業となります。その結果、日本は食料自給率が39%まで下がってしまいました。こんなに自然に恵まれた国で、なぜ皆で作ってみんなで「食べようよ」という社会にしていなかったのでしょうか。今からでも遅くはありません。

：高齢者だから伝えられることがある：

私たちが生きものとしてのつながりを取り戻すにはどうすれば良いか、実はすばらしい案があります。おじいさん、おばあさんと共に、つまり三世代がともに生きられるのは人間だけです。これを活かさない手はありません。原っぱで転げまわった体験を孫の世代に伝えていくのです。私たちが持っている生きものとしての感覚を、一世代を超えてお孫さんに伝えるというのが今の高齢者の大事な役割です。こうして生きものとしてのつながり、文化をもつないでいきましよう。

◆三入地区社会福祉協議会役員

(平成25年5月現在)

会長

佐々木和治(下町屋7区) 下町屋町内会連合会長

副会長

寺山ルミ子(上町屋安佐可台) 福祉協力員部会長

岡田 豊(下町屋8区) サロン部会長

横田 正幸(桐原18区) 広報編集会議長

河野 登(南原七十三区) ボランティア部会長

顧問

栗栖 清(下町屋10区) 町内会連合会顧問

福祉推進委員

寺山ルミ子(兼務)

理事

正岡 正暁(上町屋1区) 町内会連合会

福岡 善信(上町屋新山倉) 町内会連合会

大上 正司(上町屋1区) 民生児童委員代表

野々山公枝(上町屋光洋区) 三入女性会

観 芳子(下町屋10区) 三入女性会

竹田 愛子(桐原19区) 民生児童委員

森元 春江(桐原17区) 福祉協力員

下谷 洋子(桐原15区) 三入女性会代表

沖野 鈴夫(南原上組) 町内会連合会

古本カズエ(南原下組) 三入女性会

室崎 義信(南原中組) 民生児童委員

監事

竹尾 均(下町屋7区) 民生児童委員

奥本 清志(南原七十三区) 南原地区サロン代表

会計

越道 慶幸(上町屋安佐可台) 民生児童委員

事務局

関本 一宏(下町屋8区) 事務局長

池田 憲二(下町屋7区) 福祉協力員事務局

椿 稔治(上町屋4区)

いきいきサロン事務局

齋木 信(下町屋7区)

ボランティアバンク事務局

◆福祉協力員(四十五名)

※太字は地区代表

【上町屋地区】(八名)

大上 正司(上町屋1区)

佐々木哲志(上町屋光洋区)

角 広 忍(上町屋2区)

河野 正明(上町屋3区)

片山 保穂(上町屋4区)

岩本 智之(上町屋新山倉)

重河 素文(上町屋安佐可台)

山手 忠三(上町屋5区)

【下町屋地区】(十九名)

下崎 紀子(下町屋6区)

中村 洋子(下町屋6区)

熊谷 栄子(下町屋6区)

※竹元 重三(下町屋7区)

隅田 進(下町屋7区)

岡崎 美津枝(下町屋7区)

紙川 俊士(下町屋7区)

菅原ヒメ子(下町屋馬場)

植木 芳雄(下町屋睦)

山手 愛美(下町屋8区)

筏津 和子(下町屋8区)

野平 加代子(下町屋8区)

中村 泰久(下町屋9区)

小笹 操(下町屋10区)

梶田 直子(下町屋10区)

外和 重雄(下町屋11区)

阿口マサ子(市営住宅)

宮本 久美子(下町屋12区)

大谷 邦雄(下町屋13区)

【桐原地区】(十一名)

柿原 節子(高松町内会)

有本 里子(桐原15区)

下谷 洋子(桐原15区)

山田 喜代子(桐原16区)

森元 春江(桐原17区)

荒石 正子(桐原18区)

※竹田 愛子(桐原19区)

中村 須磨子(桐原19区)

徳丸 武司(桐原20区上)

坂本省二(桐原20区下)

中和 知子(桐原21区)

【南原地区】(七名)

中本 由佳里(南原上組)

山口 君枝(南原中組)

藤重 ケイコ(南原中組)

※古本カズエ(南原下組)

荒川 洋子(南原下組)

折出 純子(南原七十三区)

河野 和子(南原七十三区)

◆代議員(四十名)

【上町屋地区】(八名)

山岡 進(上町屋1区)

佐々木哲志(上町屋光洋区)

河野 好孝(上町屋2区)

三宅 博幸(上町屋3区)

椿 稔治(上町屋4区)

山手 忠三(上町屋5区)

若宮 正治(上町屋新山倉)

川本まさ子(上町屋安佐可台)

【下町屋地区】(十一名)

森年 信幸(下町屋6区)

隅田 進(下町屋7区)

山本 貞儀(下町屋馬場)

植田 福吉(下町屋睦)

黒田 芳文(下町屋8区)

沼本 一行(下町屋9区)

瀧本 光浩(下町屋10区)

折葉 泰治(下町屋11区)

高木 悦子(下町屋市営住宅)

宮本 悟(下町屋12区)

長村 和明(下町屋13区)

【桐原地区】(十七名)

花本 昭三(桐原15区)

夏原 栄二(中応寺ファミリ)

坂本 豊(中応寺自治会)

三通田正見(桐原17区)

谷口 貞夫(桐山自治会)

横田 隆之(丸子山自治会)

荒石 正子(桐原18区)

有田 光宏(山根ニュータウン)

中野 邦昭(高松町内会)

花田 紘二(グリーンタウン)

佐伯 忠信(吉見谷自治会)

山頭 敏秋(桐原19区)

西田 稔秋(グランドハイッ)

小玉 薫(和自治会)

徳丸 武司(桐原20区)

藤井 了(桐原21区)

山口 義利(桐原21区下)

【南原地区】(四名)

沖野 鈴夫(南原上組)

稲田 博之(南原中組)

重清 静彦(南原下組)

河野 登(南原七十三区)

三入地区社会福祉協議会の活動報告

平成25年5月12日(日)に三入公民館で三入地区社協の代議員会(定時総会)を開催しました。地域のみなさま方に前年度の事業活動の取り組み状況をご報告します。

はじめに

少子高齢化・人口減少が進んでいますが、安佐北区人口一覧(平成11年と平成24年の比較)によると、三入では『0～64歳』が1,501人の減少『高齢者(65歳～)』928人の増加で高齢化率は12%増。ちなみに安佐北区全体では『0～64歳』が22,950人の減少『高齢者』15,655人の増加で、高齢化率5%増という数字になっています。

三入地区社協は安佐北区社協福祉推進計画に基づいて活動を進めていますが、推進計画のスロークン<目標>「あなたとつくる みんなでつくる ささえあいのまち」を目指す具体的な取り組みとして「福祉のまちづくり」の柱となる次の<重点三事業>の活動を進めてきました。

- (1) 近隣ミニネットワークづくり推進… <小地域における見守り・ささえあい活動>
- (2) ふれあい・いきいきサロン推進調整… <地域住民のふれあい・交流の場づくり>
- (3) 地区ボランティアバンク設置推進… <地域住民の参加・ささえあい活動>

「重点三事業」の個別報告

I 近隣ミニネットワークづくり事業(福祉協力員活動の継続・充実)

1. 「救急医療情報キット」の配布促進

昨年より何時でも希望される方に配布出来るように取り組んでいますが、今年度は新たに63戸の方にキットの配布が出来ました。特に町内会がまとまって全員の会員に配布された例もあります。これからも希望される方にはその都度配布をいたします。

また、既にそえつけておられる方の羊には、救急安心カード(医療情報用紙)に書いてある内容の更新も大切なことですから、今後も檻に折にふれPRいたします。

2. 地域の福祉活動の参考になる研修会を三入公民館で実施しました

『第1回研修会』

開催日 平成24年9月2日

テーマ 「住みやすい地域をつくるために」

講師 広島市三入・可部地域包括支援センター センター長 流 早苗 氏ほか

参加者 福祉協力員、民生・児童委員、社協役員など約50名参加

『第2回研修会』 三入社協・自治連・公民館の共催

開催日 平成25年2月17日

テーマ 「福祉のまちづくりについて」 ～未来のために 今 地域がすべきこと～

講師 一般社団法人リエゾン地域福祉研修所 代表理事 丸山 法子氏

参加者 自治・町内会長、民生・児童委員、福祉協力員、社協役員など約94名参加

『第3回研修会』 広島市三入・可部地域包括支援センター主催

開催日 平成25年3月13日

テーマ 「助け合いのまちづくり」

講師 文教女子大学 菅井 教授

参加者 社協役員、民生・児童委員、福祉協力員(地区代表)、など約20名参加

3. まごころ弁当の配食…三入女性会の協力を得て、今年度もまごころのこもった弁当を、民生委員と福祉協力員の協力で主として独居の高齢者の方にお届けするもので、三入社協からは材料費などの助成を行っており、年間2回(2月、11月)145食・148食を配食しました。

4. 福祉協力員連絡会議の開催(3回実施)

4地区代表の福祉協力員と一部の民生委員の参加を得て、連絡会議を3回開催しました。

II ふれあいいきいきサロン活動報告

現在三入地区内で10サロンが活動していますが、前年度の年間述べ参加者数は1,880名の方が行事に参加しておられます。

1・サロン代表者会議の開催＜平成25年3月27日実施＞

各サロン代表者ほか13名の方々にお集まりいただきて行事内容の報告と、問題点などについて話していただきました。各サロンがそれぞれに工夫を重ねて運営に努力されておられます。また、全体会議を年間2回行っており、情報交換などを通じてサロンの企画に役立てられます。

グラウンドゴルフ・体力づくり体操・手芸教室・手先をつかった物づくり・日帰りグラウンドゴルフツアー・食事会・懇親会・講演会参加等々「出かけて行って仲間と楽しい時間を過ごす」ことで健康を維持することに貢献できていると感じられます。

2・高齢化は各サロンに共通して進んでいます。体力・気力の維持を図るためにも夫々が創意工夫をして参加を呼びかけ、参加したことで「元気が出た、楽しかった」と実感してもらうことでお世話をする人もやりがいを感じられています。

3・サロン間の交流活動

〔山倉〕〔町屋〕〔下町屋〕〔しあわせ〕の4サロンは、年間6回の交流活動を行っています。

Ⅲ 三入ボランティアバンクの活動報告

1・24年度は、7年目の活動を機にこれまでの高齢者世帯の支援作業の実施にともなう手順などを見直し整備して『三入きすな』の愛称とともに広報させて頂きました。また、過去に実施したアンケート調査では、無償では頼みにくいという意見が見られました。

2・バンクの登録者については再登録見直しを実施致しました。22年10月の全体見直しに続いて、24年度には三入女性会の多くの方に登録して頂き、需要と供給の最適化体制が整いました。なお、24年3月末での登録者数は58名となっております。

3・24年度の作業実施件数は42件、作業参加延べ人数は172名でした。また依頼件数は、平成20年度の74件が最多で、ここ4年間は40～50件で推移しています。

平成24年度の支援活動実績42件の内容は次のとおりです

①子育て支援・・・＜12件＞ ②高齢者世帯の支援・・・＜13件＞

③地域行事の支援・・・＜10件＞ ④公共場所の美化活動・・・＜7件＞

【参考項目】…ボランティアバンクでは、三入公民館内のコミュニティー広場で毎週月曜日に地区代表委員が駐在して皆さまの要望をお聞きしています。【受付専用電話818-7337】

永い間ありがとうございました

三入地区社会福祉協議会の役員として地域福祉の推進に貢献され、多大な成果を残されました

『退任のことば』

前・副会長（上町屋地区代） 渡邊 皓
三入地域福祉推進委員

この度、三入地区社協の副会長、並びに地域福祉推進委員を退任いたしました。私の身体的の問題で皆様のお世話が出来なくなりました。

拝命中は「独断専行型」の私で、それがリーダーだと思い込み働いてきましたが、退任して考えてみますと、必ずしも合格でなかった事に気づかされ悶々とした日を過ごしています。

地方の組織は「独断専行型」では、しばらくの間は順調に進んでいますが、いずれ硬直化し、一部の役員のみが運営をする結果になり、地元の人から離脱したものなると思います。

私の今日までの行動で、社協の皆様をはじめ諸団体各位にご迷惑をお掛けしたことを、改めてお詫び申し上げます。

今後は「相談調整型」になりたいと思っています。三入を離れる訳ではありませんから、各行事でお会いした時には従来どおりお付き合いをお願いして、退任の挨拶といたします。

『役員の退任にあたって』

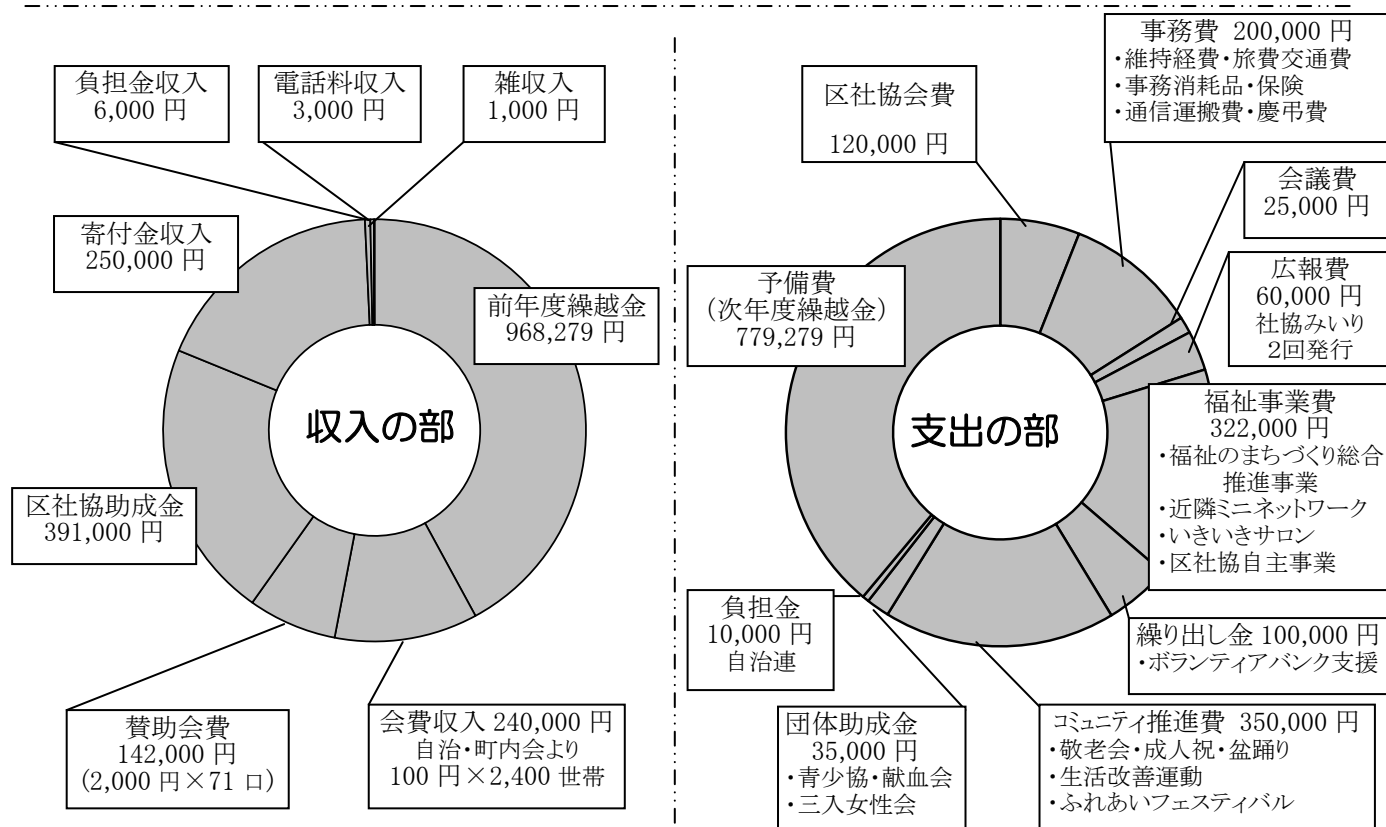
前・副会長（南原地区代表） 重清 静彦

この度、三入地区社会福祉協議会の、副会長を退任いたしました。四年間（任期二年）広報委員・ボランティア部会を担当させていただきましたが、地域の皆様をはじめ各部会の役員の皆様の絶大なご支援・ご協力により大過なく努めることができ深く感謝申し上げます。

このような機会を頂き、皆様方とお会いできた事、そして教えて頂いたことは私の大切な財産と思っています。新役員の皆様方の新しい息吹を吹き込んで頂き「安心して住みやすい三入地区」を作り上げていただく事を祈念して退任のご挨拶と致します。

平成25年度予算の内容

予算額 合計/2,001,279円



新任役員の紹介



副会長南原地区代表
ボランティア部会長
河野 登

「雑感」

この度、歴史と伝統のある三入地区社協の副会長を仰せつかりました河野です。

いままで経験したことのない役割に戸惑っておりますが佐々木会長をはじめ各役員・地域の皆様のお力添えを頂きながら「明るく楽しい、笑顔の絶えない安全・安心な三入郷のまちづくり」に微力ながら尽力していきたいと思っております。

地域の人々が支え合いながら安心して暮らせるようにするためには皆さま方のご支援が是非とも必要です。お互いに協力しあいながら活動に取組みたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



副会長下町屋地区代表
いきいきサロン部会長
岡田 豊

「就任のご挨拶」

この度、三入地区社会福祉協議会の副会長・いきいきサロン部会

長を担当させて頂くことになりました岡田です。

私は社会福祉事業に係わる専門知識の持ちあわせはありませんが、せいじっぱい努めさせていただき、少しでも皆様のお役に立てればと思っております。ご協力の程宜しくお願い致します。



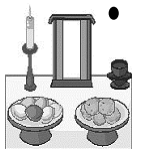
副会長上町屋地区代表
福祉推進委員(兼務)
福祉協力員部会長
寺山ルミ子

「新任役員の抱負」

この度、縁あって、未熟ながら社協の役員を引き受ける事となりその職務の大きさに身の引きしめる思いであります。今年三月に児童館を定年退職しました。振り返って思うのは、私自身地域の方から多くの事を学ばさせて頂くと共に地域の方々の子供達への心づかいと慈しみ、いたわりの心です。

これからは地域に恩返しする立場だと考え、ふるさとを愛する子供が育つ三入、また笑顔であふれる町を願い、微力ながら課題に取り組みたいと思っております。どうかご支援ご協力の程宜しくお願い致します。

愛の灯



次の方々から、香典返し等に代えて
ご懇篤なるご厚志を頂きました。
社会福祉事業の推進に使わせて頂
きます。ご厚志に対して心から厚く
お礼を申し上げます。

おくやみ

次の方々がこの間にお亡くなりにな
られました。

(平成24年12月28日から

平成25年6月23日現在)

ご生前の倅を偲びつつ、謹んでお悔
やみ申し上げます。

上町屋 永井 惟雄 様 86歳
上町屋 平野 隆三 様 73歳

上町屋 西本 勝則 様
下町屋 助信 祥 様
下町屋 西村 満則 様
南 原 迫田 安子 様
桐 原 横田 正幸 様
南 原 合力 輝治 様
上町屋 小島美奈子 様
上町屋 新迫 春美 様
下町屋 池田 秀行 様
南 原 岡野 千稔 様
下町屋 田中 晴生 様
下町屋 山本 晴之 様

上町屋 竹井つやの 様 78歳	上町屋 西本 勝子 様 86歳	上町屋 吉川 泰造 様 88歳	上町屋 小島 規嗣 様 61歳	上町屋 新迫 春三 様 97歳	上町屋 井上 博 様 71歳	上町屋 山根トシエ 様 90歳	上町屋 溝上 勝貴 様 36歳	上町屋 保里 和子 様 88歳	上町屋 中本ナミエ 様 85歳	上町屋 村上禮次郎 様 78歳	下町屋 池田トシコ 様 93歳	下町屋 助信 旻 様 74歳	下町屋 武本 政治 様 70歳	下町屋 岡太 誠 様 80歳	下町屋 西村ヤヘ子 様 100歳	下町屋 沖本 重雄 様 94歳	下町屋 城崎富士枝 様 90歳	下町屋 岡田 清子 様 99歳	下町屋 林谷 由快 様 81歳	下町屋 石原 愛子 様 75歳	下町屋 福田 ツネ 様 92歳	下町屋 田中 正子 様 67歳	下町屋 久保 健子 様 89歳	桐 原 横田 實雄 様 100歳	桐 原 村岡ツヤ子 様 79歳	南 原 合力シズエ 様 96歳	南 原 滝本マサヨ 様 101歳	南 原 花口 正義 様 73歳	南 原 本地 肇 様 80歳	南 原 真崎チヨリ 様 87歳	南 原 岡野 保 様 75歳
-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	----------------	-----------------	----------------	------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------	-----------------	-----------------	------------------	-----------------	----------------	-----------------	----------------

三入社協へのご寄付

次の方から善意のご寄付を頂き
ました。地域の社会福祉事業に対
するご理解、ならびにご協力に感
謝を申し上げます。

上町屋 渡邊 皓 様

「男料理で親睦を計る」

上町屋 新山倉町内会

無職 山田 忠

男の料理教室に参入して既に数年
経過、地元の三入公民館にて月一回
催され、何にも勝るコミュニティの
場になっている。

午前中の僅か二時間であるが密度
の濃い講習で、できた料理を昼食に
戴き満足した気分に入る。

最初の三十分は先生より四季に応
じた調理に栄養に絡んだ講習を受
け、当日のレシピに添った料理方法
を教わり、各班に分かれて一斉に調
理に着手する。

出来上がった調理は数種類あり、
特に年末はお節料理で主婦顔負けの
珍味にデザートが並び、食べるに勿
体ない料理を味わう。

一月度のみは例年の行事として近
くの温泉で身体を癒し、据え膳での
新年会を催しカラオケと楽し

い会員のコミュニティのひと時を過
ごす。従って、食物に関連する知識
を得ながら健康維持を計り、調理実
習および実食しながら親睦を計って
いる。

「旨いものは少人数」の諺もあるが、
調理教室で大勢で食べるのは格別で
美味しい旨味に堪能する。

『編集後記』

世の中、様々な商品のチラシ広告
や宣伝文書があふれている。我が家
にはよく似た通販のカatalog冊子が
毎月4〜5冊郵便受けに入っている。
どれも中身は似たようなもので、
中には表紙と発送元を除いて中身は
全く同じものというものもある。また、
季節ごとの特集号に至っては、玄関
の前に置かれることもある。こちら
が要求したことはなく、まして中身
を調べて購入したこともない。どこ
で調べるのか私宛の名前で届いて
も、そのまま古紙・再生紙の原料と
して町内会連合会のゴミ収集日に梱
包して運ぶことになる。先日朝早く
バイクで配送に来た女性に話してみ
ると「一件〇〇円：配送が減るのは
困ります」勿体ないが生活がかかっ
ているのだ。